

儲かる農業ステップアップ事業 実施状況レポート目次

テーマ（実施年度）	事業主体名	市町村名 （所管事務所）	頁
魅力あるりんごを用いた商品開発（令和元年度）	（合同） Fujita Apple Orchard	大子町 （県北）	1
荒廃竹林整備による繁殖和牛経営の規模拡大と多角化（平成30年度）	（株）ファーム 赤土	常陸太田市 （県北）	2
商談会や販売活動による販路開拓と差別化商品作り（令和元年度）	茨城町若手農 家ネットワーク	茨城町 （県央）	3
「安全でおいしい栗をお客様へ届けたい」栗と米粉を使用した商品開発と直売所兼農家カフェでの販売（平成30年度）	㊦ やなわあ 工房	笠間市 （県央）	4
「行方カンショ」の輸出とスイーツ開発（令和元年度）	JAなめがた しおさい なめがた地域 センター甘藷 部会	鹿嶋市、 潮来市、 行方市 （鹿行）	5

テーマ（事業実施年度）	事業主体名	市町村名 (所管事務所)	頁
イチゴ観光農園の開園と商品開発(平成30年度)	にいぼりのうえん	銚田市 (鹿行)	6
レンコンチップのパッケージデザイン開発と販路開拓(令和元年度)	ふみえ 文江ファーム	稲敷市 (県南)	7
移動販売車を利用した自家製イチゴ商品の販売(平成30年度)	はげたか (有) 禿鷹 plus	つくば市 (県南)	8
精米したてのおいしさを届ける真空包装米の商品開発(令和元年度)	小林 稔	下妻市 (県南)	9
移動販売車を用いたイチゴ及び商品販売(平成30年度)	いちごマルシェ	境町 (県南)	10

魅力あるりんごを用いた商品開発 ～ (合同) Fujita Apple Orchardの取組み～

事業者情報

事業主体名 (合同) Fujita Apple Orchard
 代表者名 藤田 卓
 活動地域 大子町
 経営概要 りんご : 1.6ha (品種 : 50種類)

経営の特徴

- 多品種を栽培することにより、9～12月まで収穫できるようにしている。
- りんご狩りや直売による販売に加え、りんごを用いた商品開発にも取り組んでいる。
- 会社の主力商品であるりんごを大ぶりにカットしたアップルパイ（茨城のおみやげ大賞金賞受賞）は大子町の名産品となっている。



取組概要

自社で生産したりんごを使った商品のパッケージデザイン開発および新商品開発



従来からの顧客や取引のある百貨店等から新商品やギフトセットの販売要望が寄せられたため、アップルパイ用に強度のある包装箱と、ギフト商品用の箱の開発を行う。また新商品のバウムクーヘンと、併せて専用のパッケージを開発する。

栄養成分等の検査を専門機関に依頼し、消費者や取引先に信頼される商品づくりを目指す。

実施状況

● **パッケージデザインの開発**
りんごのバウムクーヘン、アップルパイ、及びセットで販売するギフト商品用の箱が完成した。



● **商品の検査の実施**
りんごのバウムクーヘン、アップルパイ、ジュースなどの商品について、賞味期限や栄養成分の検査を行った。商品に表示を行うことで新たな取引先の獲得にもつながった。



● **新商品の開発と販売状況**
新商品の「りんごのバウムクーヘン」は約800個を販売することができた。百貨店でのお歳暮商品として、アップルパイを135個（そのうちギフトセットでの販売数は70個）販売した。アップルパイ販売個数は前年より倍増した。商品が充実し、取引先の増加や当園の特設コーナー設置につながった。

支援体制

県北農林事務所
 ・企画調整部門
 ・常設大子町農業改良普及センター
 農産加工指導センター

成果報告
 支援要請等

相談
 支援（成果報告、進歩管理等）

相談
 技術・経営支援

(合同)Fujita Apple Orchard

相談 ↑ 分析結果
 依頼 ↓ デザイン提供

(株)食環境衛生研究所
 デザイン会社

事業者のひとこと (今後の展望)

アップルパイを中心とした加工品セットの販売がはじまり、商品ラインナップの充実や販売数量の向上が取引先から求められていました。導入した大型オーブンにより製造効率がアップし、ケーキやパン類の製造も可能となりました。新たな加工品（アップルピネガー、奥久慈りんごカレー等）の製造にもとりかかっています。

令和元年度は、かねてより考えていたパティシエの雇用や、持ち帰り用の袋の材質をビニール製から紙製に変更してプラスチックを削減する取り組みなどもはじめました。今後も引き続き加工品開発に取り組んでいくとともに、商品のブラッシュアップや、世界的な環境問題を踏まえたサステナビリティに配慮した生産、製造、販売に取り組んでいきたいと考えています。

荒廃竹林整備による繁殖和牛経営の規模拡大と多角化 ～(株)ファーム赤土の取り組み～

事業者情報

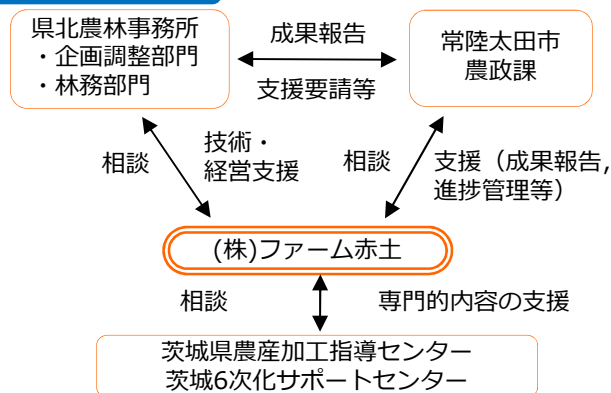


事業主体名 (株)ファーム赤土
代表者名 海老根 賢一
活動地域 常陸太田市
経営概要 繁殖和牛：23頭(令和元年)
タケノコ：1.2ha
そば：1.2ha

経営の特徴

- ・繁殖和牛経営のコスト低減のため、自給飼料(飼料用稲、牧草)の栽培と給与に取組んでいる。
- ・荒廃竹林を放牧地として整備しながら、経営規模の拡大を図っている。また、一部の荒廃竹林をタケノコ採取地として整備し、経営の多角化を目指している。
- ・将来、経営を新規就農者に第三者継承するために、平成31年4月に法人化した。

支援体制



取組概要

繁殖和牛経営における荒廃竹林の放牧利用モデルの構築と第三者継承に向けた経営の多角化に関する取組



地域の荒廃竹林を整備し、牛の放牧地やタケノコ採取地とする。
荒廃竹林の伐採竹を牛舎の敷料として利用し、コスト低減を図る。
所得向上のため、繁殖雌牛を増頭し、電気柵を活用した放牧により、限られた人員で省力的な牛群管理を行う。
経営の多角化のため、畜産経営に加え、タケノコの生産・加工にも取り組む。

実施状況

●荒廃竹林の放牧地整備と伐採竹等の利活用

荒廃竹林を整備して、放牧地を2.0ha(平成29年)から2.3ha(平成30年)に拡大した。伐採竹をチップで粉砕し、牛舎の敷料に利用した。
また、脱走防止用の電気柵を導入し、雌牛の数を19頭から23頭に増頭しても、少人数で省力的に管理できるようになった。



●経営の多角化

タケノコ採取用に竹林1.2haを整備し、令和元年は1.7tを販売した。
また、年間を通じた販売に向けて、新たにタケノコ加工品の試作を行っている。



事業者のひとこと (今後の展望)

常陸太田市赤土町では、少子高齢化が進み耕作放棄地と空き家が増えてきており、地域の元気が失われつつあります。地域の元気を取り戻し若者が働きやすい環境を整備するため、経営の法人化や荒廃竹林の整備による、放牧地の拡大やタケノコの採取・加工に取り組み始めました。

今後は、放牧地をさらに拡大し、低コスト化と繁殖雌牛の増頭、タケノコ販売額の増加を目指していきたいと考えています。私たちの取組はまだ始まったばかりですが、小さな一歩が地域の活性化につながり将来元気のある地域づくりの再生に繋がることを願っております。

儲かる農業ステップ
アップ事業実施状況
レポート
(令和元年度実施)

商談会や販売活動による販路開拓と差別化商品作り
～ 茨城町若手農家ネットワークの取組み～

事業者情報

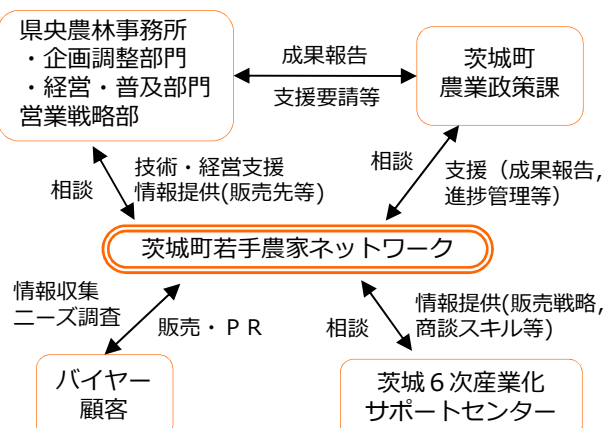


事業主団体名 茨城町若手農家ネットワーク
 代表者名 多多納 勝行
 活動地域 茨城町
 経営概要 ネギ等葉物野菜：3.0ha
 トウモロコシ：1.0ha
 その他：1.0ha

経営の特徴

- ・茨城町の20～30代の野菜を生産する農業者6名で平成31年1月に組織したグループである。
- ・メンバーで共通の品目を生産し、リレー出荷や共選出荷を行っている。
- ・葉物野菜は、ネギやホウレンソウ、コマツナを生産し周年で出荷している。

支援体制



事業者のひとこと
(今後の展望)

今回の支援を受けて作成したパッケージを活用し、令和2年3月に予定されている商談会で新規契約を獲得できるように準備を進めていきたいです。今後はGAPの認証や、新たな作物の導入も目標に掲げており、自分たちの所得向上はもちろんのこと、茨城の農業・農産物の魅力を全国にアピールしようと活動しています。

取組概要

メンバー共通の販促資材による商品PRや、市場ニーズ把握のための商談会による販路開拓



販売先での他商品との差別化を図るために、メンバー共通の販促資材を作成する。また栽培基準の統一のために、生産工程管理（GAP）に取組む。

販路を開拓するために、商談会や首都圏での販売活動に積極的に参加し、市場のニーズを捉え売れる商品づくりを目指す。さらに、出荷量を増やすために生産量の拡大を図る。

実施状況

● 共通の販促資材の作成

茨城6次産業化サポートセンターと検討を重ね、メンバー共通の出荷用段ボールはR1年9月に、葉物野菜の出荷袋は11月に完成した。



● GAP認証に向けた動き

いばらき農業アカデミー等の研修会に参加し、GAP認証に向けた意識醸成を図った。

● 商談会展と新たな販売先の確保

販路開拓のために、商談会へ2回出展した。

活気のある商談会作りを目指した結果、大盛況となり、新たに3社と契約できた。



● 生産量の拡大

市場から引き合いの強い葉物野菜は栽培面積を前年の2haから3haに拡大した。

「安全でおいしい栗をお客様へ届けたい」 栗と米粉を使用した商品開発と直売所兼農家カフェでの販売 ～ (入) やなわあ工房の取組み ～

事業者情報

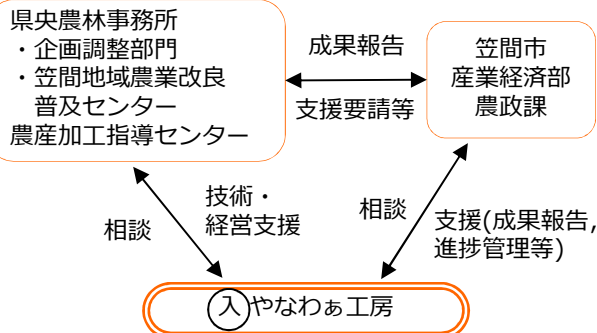


事業主体名 (入) やなわあ工房
代表者名 橋本 大敬
活動地域 笠間市
経営概要 栗：1.0ha
 水稻：1.3ha

経営の特徴

- ・栗や米を生産するとともに、商品開発に取り組んでいる。
- ・食の安全と環境に配慮し、農薬を使わない生栗の品質向上法として、温湯処理を実施している。

支援体制



事業者のひとこと (今後の展望)

次年度は、栗のお菓子（渋皮煮等）の料理教室を開催するなどPR活動を強化して、生栗や栗のモンブラン等の販売を拡大していきたいと思っております。

また、栗カフェや直売のお客様に、「安全でおいしい栗を届けたい」という、思いを伝えていきます。

取組概要

B品栗と自家製米粉を利用した商品開発と農家カフェでの販売



自家生産の栗の甘露煮とコシヒカリの米粉を使用し、添加物は使わずに素材のおいしさを引き出した「栗ケーキ」を商品化する。

新たに直売所併設のカフェスペースを整備し、良質な栗の商品をメニューとし提供する。

直売所兼カフェのPRのために、ホームページを開設し宣伝する他、ネット販売も行い、所得の向上を目指す。

実施状況

●栗ケーキの商品化とコンクール出品

平成30年度から試作を重ねてきた栗ケーキは令和元年10月に完成した。



令和元年度茨城県農産加工品コンクールに出品した結果、金賞を受賞した。

●直売所兼カフェ開設と販売

令和元年10月に直売所兼カフェをオープンした。ホームページを開設したPR効果もあり、栗ケーキセット、栗おこわセット、栗プリンセットをカフェで提供し、令和元年10月～12月の3か月間で延べ200食を販売した。



「行方かんしょ」の輸出とスイーツ開発 ～ JAなめがたしおさい なめがた地域センター甘諸部会 連絡会の取組み ～

事業者情報

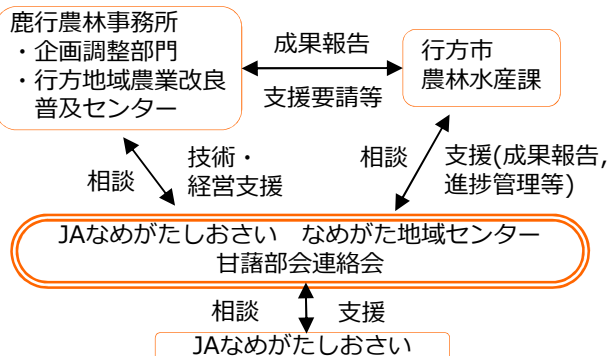


事業主体名 JAなめがたしおさい なめがた地域センター甘諸部会連絡会
代表者名 高木 雅雄
活動地域 行方市, 潮来市, 鹿嶋市
経営概要 かんしょ: 738ha (部会員255名)

経営の特徴

- ・高品質かつ食味を追求した生産を行い、市場出荷を中心とした販売を行っている。
- ・「紅はるか」、「紅まさり」、「紅あずま」の3品種をリレー出荷し、戦略的に販売している。
- ・近年、カナダを中心に輸出に取り組んでおり、今後輸出国や量の拡大を目指している。

支援体制



取組概要

冷凍焼き芋、スイーツ開発と、外国（フランス）でのプレゼンテーション活動による販路開拓



国内外での需要拡大を図るため、新たに地域ブランドである「行方かんしょ」の加工品（冷凍焼き芋やスイーツ）を開発する。

輸出拡大のために、現地（フランス）に出向き現地の料理人やパティシエ、流通関係者に試食してもらいながら美味しさを伝える出張プレゼンを行い、新規の販路開拓を図る。

実施状況

● 冷凍焼き芋の開発

国内の他、海外においても同品質の焼き芋を提供するために冷凍焼き芋を開発し、令和2年2月から販売を開始した。スイーツは次年度の販売に向け、現在試作を重ねている。

● 販路開拓と今後の販売に向けた動き

7月に冷凍焼き芋（試作品）を持参して渡仏し、現地パティシエ等に「行方かんしょ」のプレゼンを実施したところ、好評価を得ることができた。

今回の商談を機に、今後はフランスへの輸出も開始する予定になっている。



かんしょの売上高の推移（国内外）

平成30年4月～12月
25億円



平成31年4月～令和元年12月
26億円

事業者のひとこと (今後の展望)

本事業の活用により、フランスでのプレゼンは大成功を収めることができました。「食の都パリ」での「行方かんしょ」の販売は部会の長年の夢であり、今回大きな一歩を踏み出せたと実感しております。これまででは青果物の販売が主でしたが、今後は今回完成した冷凍焼き芋等を活用しながら海外での新規販路を開拓し、部会員の更なる所得向上を図っていきます。

イチゴ観光農園の開園と商品開発 ～ にいぼりのうえんの取り組み～

事業者情報

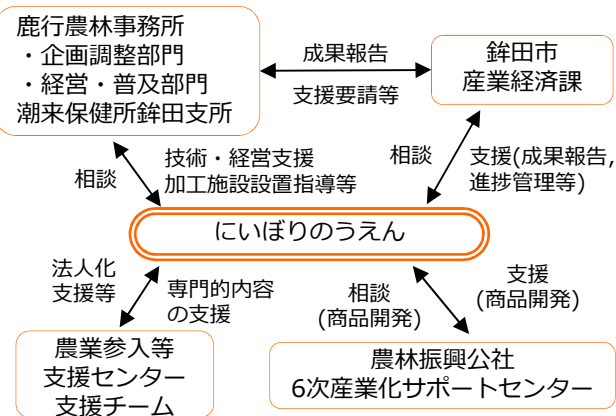


事業主体名 にいぼりのうえん
 代表者名 新堀 英巳
 活動地域 銚田市
 経営概要 イチゴ
 市場出荷：1.0ha（やよいひめ）
 観光農園：10a（10品種）

経営の特徴

- ・平成29年度まで全量市場出荷を行っていた。
- ・平成30年度からは市場出荷に加え、観光農園と直売所を開業し、また加工商品開発を行っている。
- ・平成31年1月に法人化した。

支援体制



取組概要

イチゴ観光農園と直売所の開園による新たなビジネスモデルの創出と、B品や小粒品を利用した商品開発



全量市場出荷の経営体系から、観光農園と直売所を開園することにより、経営の多角化を図る。販売額の向上に向けて、これまでB品又は市場で安価に取引されていた小粒のイチゴを使用した商品開発をし、付加価値を付けて販売する。

実施状況

●観光農園と直売所の開園

平成31年2月に10品種のイチゴを導入した観光農園と直売所をオープンした。観光農園では、シーズン合計で200名を超える入園があった。

●イチゴを用いた加工商品開発

直売所には加工施設を併設しており、4商品(ジャム、冷凍イチゴ、ドライイチゴ、パフェ)を開発した。



事業者のひとこと (今後の展望)

娘の「もっといろいろなイチゴを食べたい」の一言で観光農園の開園を決意しました。園内には、加工施設や直売所も併設し、ジャム、冷凍イチゴ、ドライイチゴの販売も開始することができました。今後は、さらに多くの入園者を確保できるよう、SNSによる情報発信等のPRを積極的に行うことでPRと認知度向上に取り組んでいきたいと考えています。

レンコンチップのパッケージデザイン開発と販路開拓 ～ 文江ファームの取り組み～

事業者情報

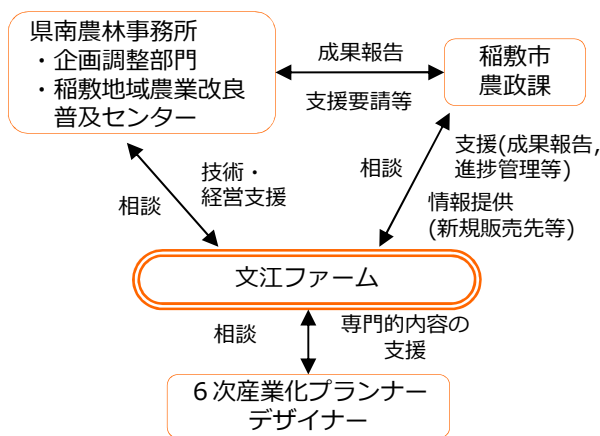


事業主体名 文江ファーム
代表者名 黒沢 文江
活動地域 稲敷市
経営概要 レンコン：1.5ha
水稲：55ha
加工商品（レンコンチップ[®]、レンコンメンチ、レンコンロケット、混ぜご飯）

経営の特徴

- ・農作物の生産のほか、平成19年から加工に取り組み始め、菓子製造業、惣菜製造業の営業許可を取得している。
- ・商品は主に近隣の直売所へ販売している。

支援体制



事業者のひとこと (今後の展望)

ただ単にレンコンチップを販売するのではなく、「浮島産れんこん」をPRしながら加工部門の経営に携わっていきたいです。加工品コンクールで金賞（県知事賞）を受賞したことで、自分の商品により自信を持つことができました。加工品コンクールで得られた審査員からのアドバイスを励みに、次年度は、新たに2店舗に販路を拡大する計画でいます。

取組概要

「レンコンチップ」
の新たな販路開拓のためのパッケージデザイン開発



自社オリジナル商品「レンコンチップ」を、近隣の直売所に加え、より遠方の販売先にも出荷することによって、販路開拓を図る。

パッケージデザインの改良や品質劣化を抑える包装資材の導入により、新たな販売先でも他の人気商品に負けない魅力的な商品を目指す。販路開拓に伴う受注の拡大に対応するため、電動スライサーを導入し増産を図る。

実施状況

● **パッケージデザイン開発** パッケージデザインを地名の「浮島産」や生産者の似顔絵を取り入れたデザインに改良し、11月に新たな包装資材が完成した。令和元年度茨城県農産加工品コンクールに出品したところ、金賞（県知事賞）を受賞した。

● **販路開拓**
販路開拓のための商談を行い、2件成約した。新規の販売先でも目立つように商品紹介用のパネルを用いて産地紹介をした。パネルおよびパッケージデザインは販売先や消費者から高評価を得、ひと月で160個/月を販売した。

● **加工商品の増産**
電動スライサー導入により、作業効率がアップし、レンコンチップの増産が可能になった。



(導入前) 80袋/月 → (導入後) 160袋/月

移動販売車を利用した自家製イチゴ商品の販売

はげたか

～ 有限会社 禿鷹plusの取組み～

事業者情報



事業主体名 有限会社 禿鷹plus
 代表者名 島津 幸孝
 活動地域 つくば市
 経営概要 イチゴ：13a

経営の特徴

- ・平成14年に就農し、イチゴの生産販売を開始し、平成18年に法人化した。
- ・現在はイチゴの収穫シーズンに直売とイチゴ狩り、オフシーズンはイチゴを用いた商品販売を行っている。
- ・イチゴ狩りや移動販売車での活動により、客との接点を持ち、その反応やつながりを大切にしている。

支援体制

県南農林事務所
 ・企画調整部門
 ・つくば地域農業改良普及センター
 農産加工指導センター
 つくば保健所

つくば市
 農業政策課

相談

(有)禿鷹plus

情報交換等 (苗の購入・生育状況把握)

つくばねファーム

成果報告
 支援要請等

相談

支援 (成果報告, 進捗管理等)

取組概要

りんりんロードを利用するサイクリング客向けに、移動販売車によるイチゴジャムを使ったかき氷を提供し、イチゴ狩りや直売のPR



りんりんロード沿いの休憩ポイントや各種イベントで、自社のイチゴジャムを使ったかき氷などを移動販売車で販売する。その際、農園をイメージしたデザインのショップカードを手渡し、イチゴ農園やイチゴ狩りのPRをする。

ショップカードと同じデザインを移動販売車の外装に施すことにより、農園のイメージをより記憶に残す工夫をし、リピーターを取り込む。

実施状況

●移動販売車での販売とPR活動

平成31年4月より移動販売事業を開始し、11月時点でイチゴを使った商品(かき氷、イチゴ豆乳など)を約3,000食販売した。

お客様からは「かき氷のシロップがイチゴ本来の味がする」「農家の方が移動販売なんてびっくり」と好評をいただいている。PR効果もあり、イチゴ狩り集客数は前年と比べて165%、売上で170%となった。



事業実施後のイチゴ狩りの集客数および売上げの変化 (平成30年及び平成31年・4月～5月)

事業者のひとこと (今後の展望)

中期的には、イチゴ狩りの集客と客単価を増やすことによって、売上が伸びると考えています。中でも、施設や接客を含めたお客様対応を最重要課題として進めていきたいです。6次化が注目されていますが、長期的には、ベースとなる生産(1次産業)が最も大切だと考えていますので、市場出荷で再生産できる経営を目指してみたいと思っています。観光事業については、冬春にイチゴで集客した顧客に夏秋にも喜んでいただけるような事業に取り組んでみようと考えています。



精米したてのおいしさを届ける真空包装米の商品開発 ～ 小林 稔氏の取組み～

事業者情報

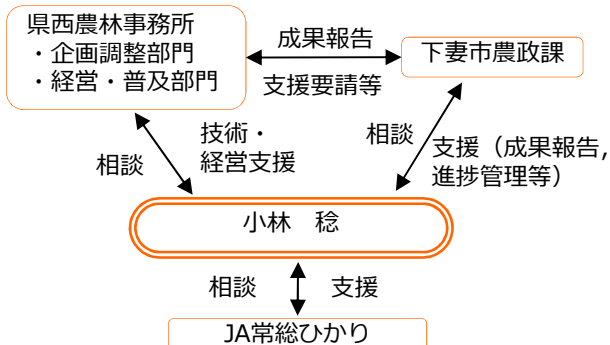


事業主体名 小林 稔
活動地域 下妻市
経営概要 水稻：11.2ha(コシヒカリ, ミルキーQueen等)
小麦：6.5ha
大豆：5.0ha

経営の特徴

- ・ 水稻はJA出荷6割, 直売所や個人・飲食店への販売4割で行っている。
- ・ 国内販売向けの主食用米や飼料用米, 輸出用米を生産している。
- ・ 平成27年に開催された「第9回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」にて, ミルキーQueenが金賞を受賞した。

支援体制



取組概要

ミルキーQueenの「新米の美味しさ」と「精米したて」の特長を長期間維持させる真空包装および少量パック販売のための商品開発



新米の美味しさや風味を維持させるため, 精米後すぐに真空包装に取り組む。

3種類のパック(300g・2kg・5kg)を開発する。リピーターを獲得することで, 所得増大を図る。

実施状況

●パッケージデザインの開発

7月に卓上真空包装機を導入し, 3種類のパッケージデザイン(300g・2kg・5kg)を完成させた。



「道の駅しもつま」での販売を開始し, 10～12月までに合計で63個を販売した。



新規開発したキューブ型の300gパック

事業者のひとこと (今後の展望)

今回の支援を受けて支援した商品開発の他, 平成30年度に商品化された下妻市の地酒「紫煌(しおう)」の原料となる, 茨城県初の酒造好適米「ひたち錦」の作付面積を増やしました。今後は地酒「紫煌」と真空梱包した米のセット販売などにも取り組み, 地域の水稲経営のモデルとなるよう努めます。

移動販売車を用いたイチゴ及び商品販売 ～ いちごマルシェの取組み～

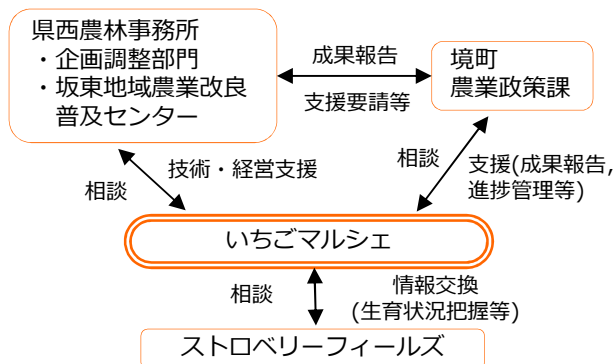
事業者情報



事業主体名 いちごマルシェ
代表者名 尾崎 智弘
活動地域 境町
経営概要 イチゴ：18a
経営の特徴

- ・平成26年からイチゴの生産を開始した。
- ・平成28年に自身で生産したイチゴを使用し、ジェラート等の商品作りと販売を開始した。
- ・令和元年度茨城県農産加工品コンクールにて「いちごマルシェの手作りジェラート『さしま茶』」が「テイスト賞」を受賞した。
- ・自宅直売所での販売の他、道の駅、地域イベント等でイチゴやイチゴの商品を販売している。

支援体制



取組概要

移動販売車を利用した地域イベントでのイチゴ及びイチゴ商品のPR販売による販路拡大



人件費やイベント販売用のテント等の出展費用を抑えるために移動販売車を導入する。イチゴを使用したジェラート等加工品の売上を向上させるために、より多くのイベントに出店し、販路拡大とPRの強化を図る。

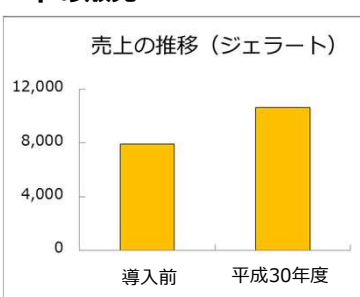
実施状況

●移動販売車による出店状況

平成30年10月に移動販売車を導入し、平成30年はイベントに9回出店、令和元年は地元でのイベントの他、隣接市町や近県で13回実施した。

●イチゴのジェラートの販売

ジェラートは、導入前の5,785食から7,433食（平成30年度）を販売（店舗で販売した数も含む）し、売上は導入前の7,933千円から10,628千円に伸ばすことができた。



事業者のひとこと (今後の展望)

移動販売車の強みを生かし、イベント出店のほかに道の駅での定期的販売等、販路拡大を図っていきます。

ジェラートのみでは秋冬シーズンの売れ行きが鈍るため、新しくクレープ販売を検討しています。

イチゴの栽培技術に磨きをかけるとともに、移動販売車の利点を生かしながら販売額を伸ばし、所得目標を達成したいと考えています。

